

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーだむ 子ども支援センター 出町		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30世帯	(回答者数) 21世帯
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの支援と安全性を重視した職員の体制づくりを行っていること	送迎専任の職員を配置し、指導員や保育士が子どもの支援に専念できるよう配置を工夫している	人材の確保のため、待遇の改善を図っている
2	保護者の方に対して、きめ細やかな情報共有を図っていること	個別の連絡帳は保護者の方に子どもの様子が伝わりやすいような書き方に努めている 事業所の取り組みに関しては、毎月の会報に加えSNSを活用し気軽に見ていただけるようにしている	保護者の方のニーズに応えられるよう、ツールを使い分けながらさらなる情報共有や周知に努めたい
3	職員会議や研修を通して、子どもの支援の共有と統一化を図りチームアプローチに取り組んでいる	年間スケジュールで毎月の職員会議や研修をあらかじめ周知しており、見直しをもって参加できるようにしている やむを得ず参加できなかった場合には、後日書面等にて確認できるようにしている	来年度は新たな企画のもと、より支援力・チーム力の向上に役立つ研修を予定している また、常勤・非常勤が分け隔てなく外部研修に参加できるように環境の整備を行いたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の取り組みを地域の方に知っていただく機会を作れておらず、地域に開かれた事業運営があまりできていないこと	地域資源(公共の施設等)の利用は定期的にあるものの、地域の方との交流を目的とした活動ができていないこと	来年度は地域で行われる販売会(地域型マルシェや高校の文化祭)での出店を目指し、子どもと一緒にものづくりを行う予定にしている
2	非常災害訓練等を定期的に行っているが、保護者の方への報告がうまくできておらずアンケートの評価に反映できていない	紙ベースでの周知・報告がメインのため、実施した訓練が十分に伝えきれていない可能性がある	SNSやLINEを活用し、写真付きで報告するなど周知徹底を工夫したい
3	保護者会や家族支援プログラムの企画を数年前より中止していること	以前は2か月に1回のペースで保護者会を企画していたが参加者が募らず、現在のニーズを把握できていない状況となっている	改めて現在の利用者家族にニーズ調査を行い、保護者会や家族向け研修の再開を図りたい